

家庭数

練馬区立大泉小学校
校長 佐々木 秀之

令和4年度 練馬区立大泉小学校 教育活動アンケートの結果について

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、ありがとうございます。

さて、昨年12月15日から1月14日まで実施いたしました教育活動アンケートの集計結果が下記のとおりまとまりましたのでお知らせいたします。教育活動アンケートの結果を謙虚に受け止め、より一層、信頼される学校づくりに努めてまいります。今後も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

※教育活動アンケートをタブレットPCでのgoogleformを活用した回答といたしました。保護者の皆様からの教育活動アンケートの回収率は、約79%でした。今後とも皆様の意見をより反映させていくように努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

【下記一覧表の数字について】

保護者・地域・教職員欄…①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない ⑤わからない のうち、

①及び②の肯定的な評価の割合

低学年・高学年の児童欄…①よくあてはまる ②あまりあてはまらない ③わからない のうち、①の肯定的な評価の割合

【字体の意味について】

太字下線の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が増加した項目

太字斜体下線の数字…昨年度と比較して5ポイント以上肯定的な評価の割合が減少した項目

四者による学校評価アンケート結果	保護者			低学年			高学年			地域			教職員			学校の自己評価と三者の比較 ◆学校評議員からの意見 ☆学校の来年度の課題			
	4年度 442名 78.5%	3年度 442名 80.7%	差 R4 -R3	4年度 264名	3年度 261名	差 R4 -R3	4年度 274名	3年度 262名	差 R4 -R3	4年度 7名	3年度 11名	差 R4 -R3	4年度 34名	3年度 32名	差 R4 -R3				
1	【学校の教育目標】 ○学校の教育目標や目指す学校像は、子供や地域の実態に合った適切な内容となっている。(保護者・地域・教職員)	90.0%	89.2%	0.8%								85.7%	87.5%	-1.8%	97.0%	100.0%	-3.0%	◇保護者・地域・教職員共に肯定的な評価の割合が85%以上あり、学校の教育目標や目指す学校像はおおむね児童や地域の実態に即したものである。 ☆全教職員の理解の下、全教育活動を通じて、一層知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供の育成に努める。	
2	【学校生活の様子について】 ○子供たちの学校での様子は楽しそうである。(保護者・地域・教職員) ○学校は、楽しいですか。(児童)	94.3%	93.6%	0.7%	76.1%	73.6%	2.5%	71.9%	71.4%	0.5%	100.0%	90.0%	10.0%	94.2%	96.7%	-2.5%	◇保護者・地域・教職員の肯定的な評価はいずれもほぼ90%以上である。児童の評価は昨年度と比較すると数ポイントではあるが上回っている。 ☆学級における指導を基盤とし、全教職員で児童を見守っていくことで人間関係を一層深め、児童が楽しく学び合い、友達と伸び伸び関わり合うことができるよう、取り組んでいく。そして、区の感染予防方針に基づきながらも、どの児童にとっても「学校が楽しい」と感じられる学校づくりに邁進する。		
3	【学校の教育活動について】 ○学校の教育活動には満足している。(保護者・地域・教職員) ○あなたは、大泉小が好きですか。(児童)	88.5%	88.9%	-0.4%	82.2%	74.7%	7.5%	69.7%	69.1%	0.6%	100.0%	81.8%	18.2%	73.5%	81.3%	-7.8%	◇コロナ禍における様々な制約により、保護者・教職員の肯定的な評価はいずれも昨年度より下回っている。児童・地域の評価は昨年度に比べ増えている。 ☆学級における指導を基盤に各教科や特別活動、学校行事等における達成感や成就感を味わわせる指導の工夫を行い、主体的に学習に取り組む能力と態度を身に付けさせ、自己有用感と学ぶことの楽しさを体得させる指導により一層取り組む。さらに、教員の学習指導力の向上及び学級経営の充実を図る。		
4	【教職員の対応について】 ○教職員は、誠実に子供や保護者に接している。(保護者・地域・教職員) ○先生たちは、あなたのことを考えたり、話を聞いたりして接してくれますか。(児童)	94.4%	94.5%	-0.1%	73.5%	62.5%	11.0%	75.9%	74.4%	1.5%	100.0%	100.0%	0.0%	94.2%	100.0%	-5.8%	◇保護者・地域の肯定的な評価はいずれも90%以上であるが、児童の評価は80%を上回っておらず、低学年においては「わからない」と回答した児童の割合が1/5程度あった。教職員においては、現状にとどまらず、更に子供や保護者に対して真摯に、誠実に対応しようという思いが見受けられる。 ☆教職員一人一人が児童や保護者の方と真摯に向き合い、その思いや願いに耳を傾けることが第一の基本である。児童に対しては、多くの教職員で見守り、一人一人の児童に寄り添った関わり方が必要である。担任だけでなく、養護教諭、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員等との連携を一層深めていく。		
5	【学校生活の様子について】 ○子供たちは、すすんであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしたりしている。(保護者・地域・教職員) ○あなたは、すすんであいさつをしたり正しい言葉づかいをしたりしていますか。(児童)	83.3%	80.3%	3.0%	61.4%	67.0%	-5.6%	67.9%	66.8%	1.1%	85.7%	81.8%	3.9%	70.6%	81.2%	-10.6%	◇全体的に挨拶や言葉遣いについては高い水準にあるとは言い難く、日常的にすすんで挨拶をすることや正しい言葉遣いをすることへ意識を高める環境づくりや働きかけが更に必要である。 ☆相手より先に挨拶する、来校者にも挨拶する、相手に伝わるように返事をするなど、高学年がよい手本となるよう、指導していく。また、正しい言葉遣いについてもふだんから意識させるとともに、家庭での協力を一層求めていく。さらに、教職員自らよりよい挨拶、よりよい言葉遣いを遂行していく。		
6	【学校と保護者・地域の連携について】 ○保護者は、全体的に学校に協力的である。(保護者・地域・教職員)	82.3%	86.3%	-4.0%									57.2%	54.5%	2.7%	91.2%	90.6%	0.6%	◇保護者・地域の方は学校の教育活動及び学校における感染症予防対策に理解を示し、支援をいただいている。 ☆家庭・地域との連携・協力を一層重視し、地域に開かれた取組を推進する。また、家庭との連絡・相談・協力を大切にしながら、学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるよう情報を発信し、啓発及び共通理解を図る。
7	【学校の教育環境について】 ○学校の教室や廊下、特別教室、校庭などの環境整備は行き届いている。(保護者・地域・教職員)	86.4%	81.4%	5.0%									100.0%	81.8%	18.2%	91.2%	75.1%	16.1%	◇保護者・地域・教職員いずれも昨年度より評価が上回っていた。コロナ禍においても教室や廊下、特別教室などの環境整備を行ってきたことによる成果ではないかと考える。 ☆常に整理整頓がなされた学校であるよう、今後も全教職員で校舎、校庭、校内施設・設備の整備に努める。また、月1回の安全点検での意識を高めるとともに、日々の清掃活動にも力を注ぎ、安全・安心で、気持ちよく学習ができる環境の整備に努める。
8	【学習について】 ○学校は、子供の学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている。(保護者・地域・教職員) ○学校の勉強は、わかりますか。(児童)	86.6%	86.4%	0.2%	82.6%	78.9%	3.7%	82.1%	87.0%	-4.9%	85.7%	72.7%	13.0%	94.1%	84.4%	9.7%	◇保護者においては、おおむね85%以上の肯定的な評価であった。しかし、低学年児童は昨年度よりもポイントは上回ったものの、高学年児童は4.9ポイント下回っているため、学習内容の充実について更に努めていく必要がある。 ☆教員の学習指導力の向上に努め、児童がより理解しやすい指導体制を工夫するとともに、標準時数を上回る十分な指導時間を確保する。また、学力向上支援講師の活用、習熟度別指導の充実、校内研究による教師の授業力向上に向けた取組などから、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に努める。		
9	【生活指導】 ○授業は、話の聞き方や発表の仕方等の学習のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている。(保護者・地域・教職員) ○あなたは、学校できまりを守って、落ち着いて勉強や生活をしていますか。(児童)	81.2%	83.0%	-1.8%	67.8%	67.0%	0.8%	65.0%	57.6%	7.4%	71.4%	54.5%	16.9%	79.4%	93.8%	-14.4%	◇児童・地域による肯定的な評価は共に増加したものの、保護者においては昨年度よりも評価が下回っていた。教職員においては、自主性、自律性、規範意識を更に高める指導の工夫をしようという思いが見受けられる。 ◆学校だけをお願いするものでなく、各家庭においても子供への啓発を行ってほしい。 ☆一人一人の人格を尊重しながら規範意識を育むなど社会的資質や行動力を高めるため、学級経営の充実を図る。挨拶の仕方や学習の決まりを教員同士で共通理解を図り再確認するとともに、指導内容を統一し、毅然とした対応の徹底に努める。学校での指導だけでは限界があるため、家庭への啓発、地域との協力を一層働きかけていく。		

